おいしい水をたっぷりと

ジャ口をひねればいつでもきれいな水がたっぷり出てくる――日ごろなにげなく使っている水道水は、どのようにして作られているのか？六月の水道週間を前に、青山小学校三年二組代表四人と担当の秋山先生が、青山浄水場を訪ずれ見学しました。そこで高橋水道局長が子どもたちに説明した内容をわかりやすく掲載しました。

市役所の九″ハ″イ″分″

一日の最高水道使用量

新潟市の水道水は、青山浄水場と鳥屋野浄水場、それに長戸呂浄水場で作られており、多く使われる七月にはそれぞれ一日最大十五万㌧、八万㌧、一万㌧で二十四万㌧の給水能力になります。

ことし市内で使われる量は、一日最高十八万七千㌧と予想され、市役所の建て物にはいる量の約九倍に当たります。

これを一人一日平均になおすと約五百㍑、一升ビンで二百八十本あまりを使うことになります。

現在皆さんの需要に充分応じることはできますが、年々一万㌧ぐらいずつ需要量が増加しており、数年後には給水能力をオーバーしてしまいます。

そこで充分対応できる体制を前もって整えておこうと、今年度から五か年計画で一日七万㌧の給水量を持つ阿賀野川浄水場を、中蒲原郡横越村地内に建設します。

同浄水場が完成する五十一年には、給水能力は一日三十万㌧にものぼり、一人一日平均六百㍑を消費しても五十万人分の水道水をまかなえることになり、五十四年までは充分対応できると予想されます。

需要量が増大する一方、年々工場排水や都市下水などで信濃川、阿賀野川の汚れがひどくなっており、これまで以上に水質検査の充実が図られています。

毎日川の水を採取し、危険物質や汚れの程度を検査したり、皆さんの家庭へ給水している水道水を調べるなど安全確保に万全を期しています。

また、阿賀野川、信濃川水系の市町村が集って水質保全連絡協議会を結成、定期的に水質検査を実施するなど、厳重な監視体制も整えています。

「毎日川の水を検査して，安全確保に万全を期しています」――局長の説明に聞きいる小針小児童

かわいい訪問者

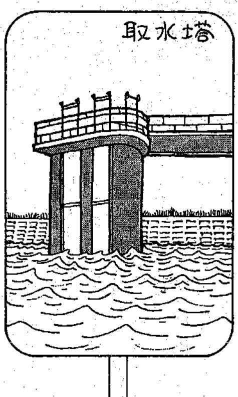
小針小学校　3年2組

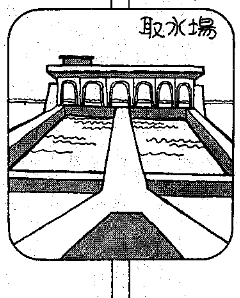
秋山先生
湯本賢一くん
川村浩二くん
北畠正子さん
布施美千代さん

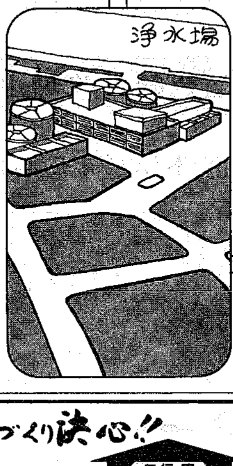
説明者

高橋水道局長

飲み水ができるまで







＜取水塔＞ 信濃川と阿賀野川の両方に設けられており，ここから原水を取り入れます。川水の少ないときでも取り入れられるように4つの流入口があります。

＜取水場＞ 取り入れた原水は，いったんここへ集められます。

＜浄水場＞ ここへ送られた原水はゴミや砂などを取り除き，塩素で滅菌処理して飲料水に仕上げられ配水場へと送られます。

＜配水場＞ でき上った飲み水は配水場内の配水池にたくわえ，自然流下またはポンプで皆さんの家庭へと送られます。

今月の催し物

21日から朝鮮語講座

申し込みは10日までに

- ■期間　6月21から毎週水・金曜日の30回，毎回午後6時～8時
- ■会場　東地区総合庁舎（蒲原町）
- ■対象　学生を除く市民
- ■定員　50人（応募多数の場合は抽選）
- ■講師　チヨウ・リョンミ朝鮮語学校教諭
- ■受講料　無料（テキスト代は本人負担）
- ■申込み　封書に住所，氏名，年齢，勤務先とその所在地を書き，住所と氏名を明記した返信用封筒に20円切手を貼ったものを同封し，中央公民館外国語係（西堀通6，☎28―1000番，内線266）へ申込んでください。

きょうから図画を募集

水族館が中学生以下の

水族館では、中学生以下を対象に、きょうから七月三十一日まで、図画コンクールを開きます。館内で写生していただいた作品は、学校単位で提出ください。幼児の場合は付き添いの方とおいでください。

クラゲやフグ、ウツボなどの図版や写真、パネルを集めた海の毒魚・毒虫展も今月から八月三十一日まで開かれています。どうぞご覧んください。

青年リーダー教室

19日から7月9日まで

- ■期間　6月19日～7月9日の午後6時～同9時（7月9日は午前9時～午後8時）
- ■会場　新潟県都市青年の家（弁天町）
- ■対象　市内の青年団体員，企業内のサークル員
- ■定員　50人
- ■締切り　6月15日まで
- ■申込み　往復ハガキに住所，氏名，年齢，勤務先，自宅と勤務先の電話，団体申込みは連名で書いて市社会教育課青少年教育係（公会堂内，☎28―1000番，内線450）へ申込んでください。

ことぶき大学

定員一〇〇人

市中央公民館が15日からことぶき大学を開きます。

- ☆日程　下表のとおり
- ☆対象　60歳以上の市民
- ☆定員　100人
- ☆締切り　6月10日まで
- ☆申込み　封書に住所，氏名，年齢連絡先を書き，住所と氏名を明記した返信用封筒に20円切手を貼ったものを同封して，市中央公民館成人教育係（西堀通6，☎28―1000内線266）へ申込んでください。

月日		テーマ	講師
6・15		開級式（学級運営について）	市社会教育課主事
6・22	社会と老人	最近の老人問題	市老人福祉センター所長
6・29	社会と老人	社会の動きと老人の役割り	市議会事務局長 吉津勝栄
7・6	社会と老人	新潟の歴史	郷土資料館館長 池政栄
7・13	社会と老人	暮しの中の法律	家庭裁判所調査官
7・20	現代の教育	新しい教育と家庭	保育専門学校講師 重野守
7・27	現代の教育	現代の若者像	新潟市社会教育主事
8・3	現代の教育	親孝行の今昔	郷土資料館館長 池政栄
8・10	長寿の秘訣	保健体操	音楽教師 斉藤正直
8・17	長寿の秘訣	長寿と食生活	日本栄養士会支部長 斉藤富美
8・24	長寿の秘訣	からだの変化と病気	医師 島田修二
8・31		閉校式	市社会教育課主事

■会場　ことぶき荘　■時間　毎回午後一時～同三時

この欄の広告の取り扱いは新潟日報事業社へ西堀前六高見ビル四階 電話（〇二五二）二八―一七二二(代)

お知らせ

ただ今当金庫では、未達会員（出資金が五千円に満たない会員）の持分に対して、信用金庫法の改正に基づき、六月一日より払い戻しをいたしております。これに該当される方は、当金庫本支店窓口までお申しでくださるようお知らせいたします。

昭和四十六年六月五日

新潟信用金庫 新潟市西堀通三番町八〇四番地二

家づくり決心!!
〈住宅ローン〉がおてつだい
縣信用 住宅ローン いますぐマイホームの夢がかなう
いつも気軽な私たちの銀行
新潟縣信用組合

火災共済・交通災害共済
明るい生活は
市民相互扶助の共済で
新潟市火災共済
新潟市寄居町（富士マンション1階）
電話 (23)2347・(23)2960番

電話一本で安心しておまかせ下さい
ご不幸に奉仕 新潟葬祭センター
鳥屋野会館
新潟市神導寺一　電話(0252)47―5444(代)
新生活互助会

関屋
森田整形外科医院
森田利哉
バス／昭和町下車
関屋昭和町3　TEL66―2647・4413

あなたの貯蓄を大きく殖やす
農林債券
ワリノー
※ 1年貯蓄で最高　年6.213％
いつでも簡単にお買求めができます
農林中央金庫新潟支所
〒951 新潟市寄居町344―1電話22―4151